

第25回共に働くまちを拓くべんきょう会 結婚、出産、子育て、離婚の中の就労

6月23日(木)6時半～ 越谷市中央市民会館4階

このべんきょう会は、障害者が地域で働くというテーマをきっかけにしながら、障害のない人の働きかたや暮らし方を含めて、フリーに語り合おうという会です。一回、一回、レポーターをお願いし、それを口火としておしゃべりしますので、初めての方でもどうぞおいで下さい。

今回は最近職場参加ビューローと一緒にスタッフとして彗星のごとくデビューされた日吉さんに、豊富な就労と生活の体験をお話いただきます。

終了後お時間のある方は、ファミレスでおしゃべりしましょう。



話し手 日吉孝子さん

(越谷市在住世一緒スタッフ)

会費・200円

主催・NPO法人障害者の職場参加をすすめる会 048-964-1819

結婚、出産、子育て、離婚の中の就労

話し手 白吉孝子さん（越谷市在住 世一緒スタッフ）

白吉孝子のプロフィール

北海道生まれ
5歳の時、私のために一家で上京
武蔵野日赤小児センターにリハビリのため入所
一年遅れで都立光明養護小学部入学、入寮
地元の中学校へ入学
都立高校受験に失敗し、私立大東学園高等学校に入学
東洋大学に入学したが、一年で退学
新宿にある職能開発センター（職業訓練所）にて和文タイプを習得
やごと三菱事務器械kkに正社員として就職
お局に逆らい一年近く仕事からパジされ、いじけ虫となる
そんな折、大田区を中心とした「地域で自立を考える会」を数名の障害者と始める
一年半勤めた三菱を辞め、職安に通い二カ月後、関西ペイントに正社員入社
知人の誘いで碓印刷に勤める
妊娠4ヶ月で退職、「地域で自立を考える会」からも離脱
その後、結婚・三つ子誕生
大学や自宅駅前等にて介助者集めのピラックばりをして自宅介助とホームヘルパー制度を受け、生活保護にて子育て開始
子供が小学校入学し、ダンチの収入増加で生保から抜け、介助者とヘルパー無しの生活を始める
37歳の時、障害者のワープロ講習会に参加し、嘱託扱いで日本化薬kkに入社
丸8年勤め、退社 第二次障害始まる
二年前に離婚し、以前2年住んでいた越谷に群馬より移住
今年3月、頸椎の手術を受ける
これまでの人生、流れ歩いて引越し20回、流石に疲れるし、こころで腰を落ち着けて生活基盤を作りたいと思っている。



第25回共に働くまちを拓くべんきょう会

6月23日（木）6時半～ 越谷市中央市民会館4階

資料代・200円 特定非営利活動法人障害者の職場参加をすすめる会 048-964-1819